

# 千代田

## 議会だより

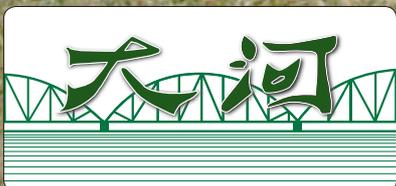


### No. 133

### 平成27年12月定例会



左のQRコードを読み込むと、議会ホームページが開けます。



表紙の説明は18ページをごらんください。

- P. 3 第3回 議会報告会を開催
- P. 5 平成27年度 一般会計補正予算を可決
- P. 7 一般質問 そこが聞きたい
- P.14 委員会のうごき
- P.16 視察研修レポート



# 新年のごあいさつ



副議長 長  
福田正司

◎総務文教常任委員会

委員長 襟川仁志  
副委員長 野村智一  
委員 黒澤兵司  
細田芳雄  
柿沼英己

◎福祉産業常任委員会

委員長 金子孝之  
副委員長 坂部敏夫  
委員 青木國生  
富岡芳男  
小林正明  
高橋祐二

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、夢多き新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より私ども議会の活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、議員一同心より感謝を申し上げます。

今、全国の自治体では、国が推進する「地方創生」に向けた取り組みを加速させ、地域の活性化と人口減少を最小限に食い止めるための挑戦を始めています。

本町においても、「地方創生総合戦略」事業が新年度より開始される見込みで計画策定が急ピッチで進められており、主要事業として「ふれあいタウンちよだ商業用地販売推進」や「新規工業団地の推進」、「利根川新橋建設促進」などが盛り込まれるほか、町の活性化に係る幅広い事業が展開される予定となっています。

また、町の水道事業については、人口減少に伴う対策の一環として本年4月より事業が広域化され「群馬東部水道企業団」として生まれ変わり、運営基盤の強化と効率化が図られることとなります。

今後、人口が減少していく時代に対応した町づくりは最大の行政課題であり、議会と町とが協力しながら各事業を着実に実行していかなければなりません。

町民皆様の声は、議会活動を行うにあたり欠くことのできない大きな力となりますので、今後ともご意見等をお聞かせくださいますようお願いいたします。

迎えた新年が、町民皆様にとりまして輝かしい一年となりますようご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

千代田町議会議長 福田 正司

今年で3回目となる議会報告会を2つの会場で開催しました。

今回は、平成26年度一般会計決算、各常任委員会・特別委員会の活動状況などを報告し、その内容についてのご質問やご意見をいただきました。

Close up



## 第3回議会報告会を開催しました！

◆ 11月4日（水）  
午後6時30分～  
総合体育館 多目的室

◆ 11月6日（金）  
午後6時30分～  
町民プラザ 講義室

### 地方創生

**問** 地方創生は、国が各県や市町村を元気にしようと始まりましたが、本町においてはどのような地方創生の計画があるのか。

**答** 今年度は、プレミアム商品券の発行をしました。また人口ビジョンと地方版総合戦略を、人口減少が進む中でどのような対策が必要か、有識者会議で議論しながら、議会においても全員協議会で議論し、今年度中にまとめるということです。



### 学童クラブ

**問** 学童クラブの利用者は多く、先生が少ない状況で、時としてトラブルが発生し中には大きな問題に発展することもあり、先生や職員が非常に大変な思いをしている。第三者委員会の相談員を増員できないのか。

**答** 子どもがしっかりと健やかに育つようにと運営されている施設であります。利用者が多いことから、様々な事情でトラブルもあると思います。トラブルの調整も含め、よりよい充実したサービス体制が作れるよう、人員の確保も執行部に要望していく所存です。

**問** 舞木地区に立派な都市計画道路があるが、有効活用を図るために新福寺の県道に接続し、広域農道を通って川俣駅まで直結できればと思う。そして公共交通機関であるバスの本数を、朝の通勤・通学時間帯と夕方の退社・下校時間帯で増やし、日中は交通弱者のために、公用車を利用したきめ細かいサービスの実施など、交通インフラを強化してもらいたい。

**答** 都市計画道路は、東日本大震災の復興に伴い、新規道路への交付金が大幅に減額されています。県道赤岩・足利線への接続に向け、平成26年度末で用地買収も約80%が済んでいる状況であり、平成30年度を目標に進められています。

### 交通インフラ



防災対策

**問** 9月に常総市の鬼怒川堤防が決壊し、大きな被害が出た。利根川を抱えた本町とよく似た地形であり、町としても堤防の決壊に備え、排水ポンプの点検整備や的確な情報伝達、そして高台等の避難場所の整備をしておく必要があるのではないか。

**答** 利根川の堤防が決壊した場合、避難場所は決まっていますが、高い所への避難ということになります。避難計画や住民を早く避難させるための行動計画は出来ていますが、的確な行動ができるように避難訓練の実施と、町民への洪水ハザードマップの周知が重要と考えており、議会としても消防団と協力し取り組んでいきたい。

**問** 決算審査特別委員会で予算の使われ方をチェックしたとこのことで一歩前進と思うが、決算の評価は何を基準にされたのか。民間の会社では投資対効果で評価し、その結果が次年度の予算に反映される。議会もそういう評価をするべきと思うが、民間に比べ地方自治体の決算は遅く、倍の期間がかかっている。もっとスピードを持ってやればさらによくなると思う。

**答** 評価については、各事業の効果を求めたものは出ていますが、点数などをつけた詳しい評価は出ていません。現在、そのような評価で確認できるよう、研修等で勉強しています。

決算時期は、民間に比べタイムラグが相当ありますが、2ヶ月ごとに監査報告を受け各議員がチェックしており、完璧とはいえませんがご理解いただきたい。

委員会報告

**問** 両常任委員会の報告で、同じような子ども関連の話をしており、もっと課題はあると思う。特に福祉産業では高齢化や雇用の問題、また地方再生の話も、我々にも見えるかたちでお願いしたい。そうすれば、報告会も立派になると思う。

**答** 総務文教が教育委員会の幼稚園、福祉産業が住民福祉課の保育園ということで、両委員会とも子育て支援の報告となりましたが、来年度の議会報告会に取り入れさせていただきたい。大変貴重なご意見ありがとうございました。

人口減少問題

**問** 2040年頃に地方自治体の数が今の半分になると報道されている。人口減少対策として次世代育成支援対策も1つの鍵だと思うがそれだけでなく、大きな柱をいくつも立てて、例えば5年間のプランで目標を設定し、PDC Aサイクルをもって臨まなければ、千代田町は消滅する側に間違いないか入ると思う。

**答** 福祉産業常任委員会としても、昨年度は健康寿命を延ばし元気で長生きできる町づくり、今年度は次世代育成支援で子どもたちをしっかり育てていく、その他にも雇用の確保が大事と考えております。それぞれが相まって効果が出ると思いますが、1年ごとにテーマを決め取り組んでおりますのでご理解いただきたい。



平成 27 年第 4 回定例会が、12 月 3 日から 10 日までの 8 日間の会期で開かれ、選挙 1 件、平成 27 年度一般会計及び特別会計補正予算などの議案が 16 件上程され、慎重なる審議の結果、すべて原案どおり可決されました。また、初日には 5 名の議員が一般質問に立ち、町の考え方について質問しました。



## 一般会計補正予算 (第 3 号)

歳入では、国・県補助金の確定等により、追加及び減額が行われました。

歳出では、選挙費における選挙公報の印刷費が追加され、また各行政区からの

工事の要望増加に伴い、用排水路等整備事業のための工事費が追加されました。

土木費の公共下水道費では、下水道事業特別会計繰出金が追加されました。

## 西邑楽土地開発公社は 本町単独で継続されます

西邑楽土地開発公社は、公共用地・公有地等の取得・管理・処分等を行うことにより、地域の秩序ある整備と地域住民福祉の増進に寄与することを目的に、大泉町・邑楽町・千代田町の 3 町で、昭和 49 年 4 月 1 日に設立されました。

この度、大泉町及び邑楽町は、現在主たる事業を行っていないことから脱退（本年 3 月末）することになり、県企業局と共同事業である「ふれあいタウンちよだ」や現在進めている「新規工業団地」事業も控えているため、本町が引き継いで運営を行うものです。それに伴い、定款が変更されました。

### 土地開発公社とは…?



自治体からの要請により公共施設や道路建設などの公共事業用地の先行取得及び住宅用地、企業誘致のための土地の取得・造成・分譲を主たる業務として設立された法人です。公有地の拡大の推進に関する法律に基づき地方公共団体が単独で、あるいは他の地方公共団体と共同で設立することができます。



住みよい街並みが形成されるふれあいタウンちよだ

## 平成 27 年度 一般会計・特別会計補正予算

項 目	補 正 額	補 正 後 予 算
一般会計 (第 3 号)	3,620 万 6,000 円	47 億 6,991 万 7,000 円
国民健康保険特別会計 (第 2 号)	1,714 万 5,000 円	16 億 5,625 万 2,000 円
後期高齢者医療特別会計 (第 1 号)	107 万 7,000 円	1 億 0,488 万 0,000 円
介護保険特別会計 (第 2 号)	△ 2,956 万 9,000 円	9 億 6,449 万 2,000 円
下水道事業特別会計 (第 2 号)	1,279 万 6,000 円	2 億 9,703 万 4,000 円
水道事業会計 (第 3 号)	収益的支出	△ 360 万 3,000 円
	資本的収入	△ 216 万 1,000 円
	資本的支出	100 万 0,000 円
		2 億 7,250 万 9,000 円
		764 万 1,000 円
		1 億 6,319 万 7,000 円

## 新たに選挙公報が 発行されます

市町村の選挙における選挙公報の発行は、公職選挙法の規定により任意のため、本町ではこれまで発行されていませんでした。議会では平成25年12月に町及び選挙管理委員会へ、選挙公報の発行に係る要望書を提出致しました。その結果、今定例会において議案が上程され、可決しましたので、

今後の町長・町議選において選挙公報が発行されることになりました。

選挙公報を発行することにより、候補者は自己の主義主張を周知できる新たな機会を得られるようになるとともに、有権者は投票の判断材料を新たに獲得できることになり、また投票率の向上が期待されます。



大切な投票  
忘れずに！

## 群馬東部水道企業団 議会議員を選出

昨年6月定例会にて、3市5町（太田市・館林市・みどり市・板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町）による水道企業団設立の許可を議決し、10月1日に群馬県知事より設立を許可されました。

平成28年4月1日の運営開始に伴い、企業団より議会議員の選出依頼があり、今定例会において指名推薦により決定致しました。

当選議員  
福田 正司 議員



## 審議議案と議員の賛否(第4回定例会)

議案名	議員名											議決結果 (賛成:反対)	
	野村智一	高橋祐二	坂部敏夫	襟川仁志	金子孝之	小林正明	柿沼英己	富岡芳男	細田芳雄	黒澤兵司	青木國生		福田正司
第4回定例会													
議案45号	群馬東部水道企業団の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案46号	西邑楽土地開発公社定款の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案47号	千代田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案48号	千代田町選挙公報の発行に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案49号	千代田町水道事業の設置等に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案50号	千代田町水道事業の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案51号	千代田町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案52号	千代田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案53号	千代田町自立支援サービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案54号	千代田町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案55号	平成27年度千代田町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案56号	平成27年度千代田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案57号	平成27年度千代田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案58号	平成27年度千代田町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案59号	平成27年度千代田町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案60号	平成27年度千代田町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します (○は賛成、×は反対、欠は欠席)

# そこが聞きたい 5 議員が登壇

# 一 般 質 問

一般質問とは、議員の立場から、町長や町の各行政機関の長に対する町政運営全般における事務執行の状況や、将来に対する方針等について所信をただし、あるいは、報告・説明を求め、または疑問を問い質すことをいいます。

ページ	質 問 者	質 問 項 目
8	小林 正明	①千代田町防災マニュアルの策定について ②生活道路の防犯灯・防犯カメラ設置について
9	坂部 敏夫	①水道のアスベスト石綿セメント管の交換工事について ②農政の長期対策について
10	柿沼 英己	①定住者への経済支援について ②地方創生総合戦略の農業振興について
11	襟川 仁志	①チャレンジ手帳について ②文化財等の保護について
12	高橋 祐二	①防災計画について ②大谷町長の政治理念について



# 千代田町防災マニュアルの策定について



小林 正明 議員

## 町長 地域防災計画改訂版に位置づけ作成していきたい

**問** 町防災マニュアルを策定するのか。  
**町長** 地域防災計画の改定を来年度前半までの予定で進めており、引き続き防災知識の普及、啓発資料等の項目を改訂版に位置づけ、マニュアルを作成していきたい。

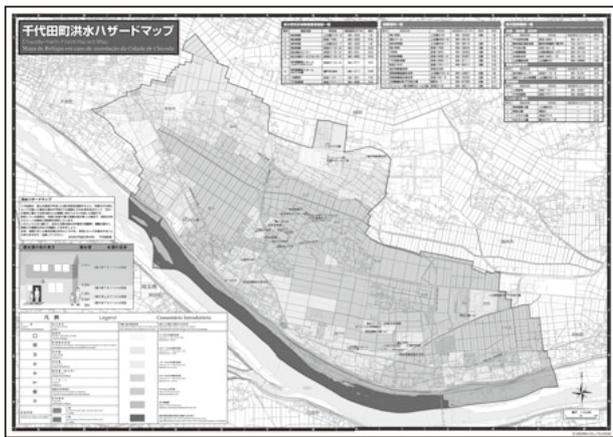
**問** 千代田町洪水ハザードマップの見直しについて問う。  
**町長** 現在国土交通省では、利根川の氾濫による洪水災害について、浸水想定等の見直しを進めていますので、これに合わせて避難情報の発令基準等を含め、町のハザードマップの見直しを考えています。

**問** 独自の訓練計画が必要だと考えるが、どうか。  
**町長** 本町は、地理的に東西に長い地域であるため、町民の皆様を1つの場所に避難させる訓練はできないと思っています。

**問** 地理的条件が異なることから、町内を幾つかのブロックに分け、地区ごとに訓練を行うことが望ましいのではないかと考えます。

**問** 庁舎内非常用電源はいつでも使えるような状態になっているのか。  
**町長** 役場庁舎が機能できないときは、非常用電源が機械室の屋上に配備されている町民プラザにおいて、災害対策本部を設置することを考えています。

**問** 他市町ではスマートフォンを無償貸与し、防災や見守りに活用する計画があるが、本町ではどのように考えるか。  
**町長** 初期導入の費用が1億円前後となりますので、大変厳しい事業と考えています。今後、他市町の取り組みの結果を参考に、検討していきたい。



いざという時のために、確認を

**町長 順次設置範囲を広げていきたい**  
**防犯灯・防犯カメラの設置について**

**問** 生活道路の防犯灯・防犯カメラ設置について問う。  
**町長** 防犯灯は、主に地元区長からの設置要望を受けて設置しています。

**問** また防犯カメラは、町内の公共施設を中心に設置しています。今後、街中や通学路など、順次設置範囲を広げていきたい。

**問** 新谷田川管理道路周辺の設置の考えはあるのか。  
**町長** 地元区長から要望がありました新谷田川管理道路沿いの防犯灯については、新年度予算として計上する予定です。

**問** 防犯カメラの設置につきましては、具体的な設置場所は未定です。  
**町長** 町全域を対象に計画的な設置を検討していきたい。



坂部 敏夫 議員

# 水道のアスベスト石綿 セメント管の交換工事について

**建設水道課長** 広域化により10年計画  
で完了する予定です

**問** 水道の石綿管を交換すべき箇所と数量は。また水質検査は行なっているか。  
**建設水道課長** 平成27年度末で、残り約1万93mの予定です。平成28年4月から水道事業は群馬東部水道企業団としての統合運営となります。今後の老朽管（石綿管）の布設替えは、広域化により平成36年までの10年計画で完了する予定です。  
水質検査については、厚生労働省健康局水道課より固形化された石綿管を通過した水道水のアスベスト残存

量は問題となるレベルにないことから、水質基準の設定は行わないと考え方が示されています。WHO世界保健機構においても、健康影響の観点からガイドラインの値を定める必要がないとしており、安全性に問題ないと結論づけています。以上により、水質検査51項目の中に設定はしていませんが、漏水への影響も多いことから、計画的に交換を進めていきます。



安全で安心な水道水を

## 農政の長期対策について

**経済課長** 集積化に向け取り組んでいきます

**問** 農地集積をどのように進める予定か。

**経済課長** 農家の方が今後どのように農業に取り組むかを把握する必要がありますので、意向調査を行い、集積化に向けた取り組みを考えていきます。

集積化の組織については、農地中間管理事業を念頭に、農業委員や農協などの農業関係機関と、地区を代表する農家と住民の方にも加わって話し合いの場を設けていきます。

**問** 農作物の付加価値を高めるため、米麦から果樹や野菜への事業転換を早急に進めるべきと考える。今後の研究や助成方法はどのように計画されているか。

**経済課長** 野菜生産を取り入れた複合経営の農業への転換を推進していくために、県の指導機関などの協力を得ながら、この地域に適合する農作物を研究していきます。

また、野菜等生産推進事業として、出荷野菜を生産する農家への補助を検討していきます。

# 定住者への経済支援について



議員 英己 沼 柿

## 町長 本町の人口増加につなげていきたい

**問** 総合戦略にある、移住者住宅取得費等補助金交付事業について制度設計の不足はないか。

**町長** 予算等を考慮し、対象者及び金額等について専門部会で協議を重ねたものであり、妥当と考えています。

**問** 新婚世帯家賃応援補助事業の政策効果を伺う。

**町長** 新婚世帯にとって住みやすく、子育て支援等各支援策が充実している町であることを町内外に広くアピールし、新たに新婚世帯を町外から呼び込むことで、人口増加につなげていきたいと考えています。

**問** 3世代同居等支援補助金交付事業の政策効果を伺う。

**町長** 新たに3世代同居のために住宅の新築や購入、増改築等を行なった場合に費用の一部を補助するものです。家族の絆の形成、高齢者の孤独防止や子育て支援等の家族連携を推進することによって、本町の定住人口の増加につなげていきたいと考えます。

## 農業振興について

### 町長 地域農業のリーダー育成に努めたい

**問** 地方創生の新規事業で、どのように6次産業化へ取り組むか。

**町長** 群馬6次産業化サポートセンターを活用し、地元産の農産物を取り入れた商品開発、マーケティングプランなど専門家の支援を受けるとともに、商

**問** 就農支援事業の政策×リットを伺う。

**町長** 新たな雇用創出として、特に45歳未満の青年を対象に、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規農業者に対し、経営安定までの生活資金や規模拡大に必要な農業用機械等の導入に対し、総合的に支援したいと考えています。

青年層の就農希望者や、経営発展を目指す農業者等のレベル向上を図り、地域農業のリーダーとなる人材を積極的に育成していきたい。



ブランド化に成功した白菜「邑美人」

# チャレンジ手帳について



襟川 仁志 議員

教育長

## より成長、発展していくよう周知を図ります

**問** 町独自の取り組みであると思うが、どのようなものか。

**教育長** 社会教育委員長を中心に社会教育委員会から提案され、平成26年度より始めたものです。

子供達が、外で遊ぶ事よりもゲームに夢中になり、子供同士・大人・地域の人とのつながりの希薄化等を憂慮し、社会教育の立場から家庭・学校・地域が子供を育てるというコンセプトのもとスタートしたものです。

**問** この事業の評価と課題は。

**教育長** 評価は、子供たちが手帳を持つことにより、意欲的に体験学習に参加し、自分でコメントを書き、親もその手帳を見て、子供の1年間と親のかかわりを振り返る事ができたのが大きな成果であったと思います。

課題は、周知不足であり、多くの方に周知し、地域で子供たちの成長を見守れるようにしたい。

**問** 千代田町だけではなく、他市町にも拡大していきける事業だと思いが今後の展開は。

**教育長** 他市町にも拡大を図るため、新聞に掲載したり、群馬県民を対象とした県生涯学習センターや、東毛地区社会教育研究大会で事例発表など行い情報を発信しています。そこから、より幅広い意見情報を収集し、チャレンジ手帳が成長、発展していくと考えています。



地域と連携を図るチャレンジ手帳



## 文化財等の保護について

**教育長** 文化財保護調査委員を委嘱し、取り組んでいます

**問** 町指定の文化財の保護・保全についてどのように取り組んでいるのか。

**教育長** 文化財の保護及び活用という目的で文化財保護調査委員を4名委嘱し、調査研究等に尽力をいただいています。国・県登録の文化財においては、県文化財保護指導員によりまして定期的に巡回パトロールを実施しています。

**問** 町内の文化財をデジタルアーカイブとして活用しては。

**教育長** 詳細なデータを公表することは、盗難という心配もありますが、貴重な文化財を後世に継承していくためには、必要な方法だと思っておりますので検討していきたいと考えます。

※デジタルアーカイブ所蔵資料を電子化して保存公開するシステム

# 防災計画について



高橋 祐二 議員

## 町長 館林市邑楽郡隣接 1市5町 相互応援協定を締結しています

**問** 利根川が氾濫した場合、他市町に協力要請するなど、近隣自治体と防災協定を結ぶ計画はあるのか。

**町長** 他市町との協定締結状況は、館林・邑楽郡5町で水道災害相互応援に関する協定を締結しています。

また、平成25年3月には、災害時における館林市邑楽郡隣接1市5町相互応援協定を締結しています。

主な内容は、応急物資・資材の供給、応急対策、職員の派遣、避難住民の受入れと救援、後方支援基地の提供

連絡・発注業務等の事務処理などの協力です。町村との防災協定の締結も検討していきま

す。



利根川のスーパー堤防

## 町長の政治理念について

**町長** 公約どおり完遂できたと考えています

**問** 町長に就任して8年、今までの仕事を公約に對しどのように評価しているのか伺う。

**町長** 公約として、ま

ず利根川新橋の早期実現については、平成34年までに事業に着手することが、はばたけ群

馬・県土整備プランに

記述されました。

次に、新商業施設誘致ですが、ジョイフル本田千代田店の誘致に成功したこともあり、新しく造成した商業用地にも進出企業を任期中に決定したいと考えています。

次に、工業団地造成による優良企業の誘致ですが、これまでにプロジェクト会議を38回開催し、現候補地の農振除外に向け努力しています。

次に、教育と福祉の充実では、預かり保育や適応指導教室指導員設置事業を新たに開始、英語指導助手を3名体制に充足、各学校の各種改修工事等を実施し、教育環境の整備を図りました。

また、福祉関係では、病児・病後児保育事業や各種予防接種費用助成事業を実施したほか、西小学校児童保育

所改修事業を実施し、旧西幼稚園に学童保育所を移動しました。

これらのことから、公約どおり完遂できたと思っております。

**問** 来年3月の町長選出馬の意向を伺う。

**町長** 体の状態が改善するという状況ではないことから、次期町長選については、12月19日に後援会の役員会を開催、その席で役員会の意見を聞いた上で正式に決定したいと思えます。

## 総務文教常任委員会

平成27年10月26日

## 福祉産業常任委員会

平成27年10月6日

### ●東小学校（英語教育）

千代田町立東小学校の6年生の英語教育の授業風景を見学し、担当の先生と意見交換をしました。昨年、長野県の英語教育特区であった下諏訪町の小学校を視察し、本町では今年度から外国人の英語指導助手を1人増やし半年が過ぎたため、状況の確認も含めて視察を行なったものです。まず英語に親しんでもらうことを目標にしていますので、教材もわかりやすく日本語も出ていて、英語に親しんでいる授業風景でした。

2020年度に小学校5・6年生で英語が教科化され、2018年度から本町でも準備していく予定です。英語が苦手な先生もいるので、大泉町のように英語の得意な先生（JT）と外国人の指導助手（ALT）とペアで英語教育を行なっていくことが今後必要であると感じました。

### ●千代田消防署（水防対策）

9月の大雨による鬼怒川の氾濫があり、茨城県常総市では大規模な水害がありました。そこで本町の水防対策について千代田消防署を視察し、意見交換をしました。本町の水害予防計画、水防計画、館林地区消防組合の水防計

画とも整備されていますが、利根川が氾濫することは想定していないということで今後対策が急務であると感じました。今回町民参加型の防災訓練を行い、防災意識が高まったと思いますが、実際に水害があった想定ではなかったので、水害のための防災訓練をしなければならぬと考えます。

また自主防災組織が現在6地区立ち上がっていますが、早急に全地区の立ち上げが必要であり、地震・災害の訓練だけではなく、水害に対しても訓練をやっていたことが必要であり、ハザードマップも町民へどう周知させていくかということが今後の課題です。

また災害用の備品倉庫も見せていただき、館林・板倉・明和のように消防団や役場にゴムボートを配置していくことが必要であると感じました。



福祉産業常任委員会では、人口減少問題への対応や将来の千代田町が元気で豊かな町となるために、今年度は次世代育成支援対策についてを重点調査項目と決定し、先進地視察等を実施し研修を重ねてまいりました。その結果を踏まえ、10月6日に町内の西保育園・児童センター・西小学童クラブの視察を実施しました。

西保育園は、規模の大きい保育施設ですが近年の社会情勢を反映し、入園希望者が増加傾向にあり、定員を上回る状況が続いています。現在待機児童ゼロの状況を維持しており、保育士や職員そして町当局の努力がうかがえます。

西小学童クラブは、入所希望者が定員を上回る状況が続いていることから、同じ敷地内に施設を増設することになりましたが、家庭や学校との連携の必要性を強く感じました。

また0歳児の入園希望が増えていることから、増築に向けた動きもあり、増築後の保育士の確保が重要となっています。さらに給食のあり方にも課題

を感じられ、園児の中には食物アレルギーを持っている子供もいることから、細心の注意を払っての調理が必要とされる状況で、160名分の調理をすることは職員にとって重責であると感じられました。

児童センターでは、子育て中のお母さんたちや児童にとって、支援の充実が図られ、児童センターとしての機能を十分に発揮していると感じられました。また、学校帰りの小学生の利用が増え

ていることから、家庭や学校との連携そして児童の安全確保などの課題もあります。

どの施設に関しても、最小限の職員で運営されており、学校との連携不足が懸念され、職員の増員と子ども子育て関連窓口の設置が必要不可欠と感じられました。



# 総務文教常任委員会

◎襟川仁志 ○野村智一 黒澤兵司 細田芳雄 柿沼英己 ◎委員長 ○副委員長

## 町からの報告事項

### ●主な所管事務について

総務課…広域公共路線バス運行等の変更について

財務課…町税の収納状況について

会計課…基金の積立状況について

## 主な協議事項

### ●防災対策、エコスクールについての意見交換

### ●閉会中の継続調査について

## 主な質疑

**問** ふるさと納税（寄付金の奨励品を増やす）というのだが、進捗状況は。

**答** 町では地元の特産物として酒・うどんを進呈しているが、年間10件程度です。伸びている市町村ではインターネット専門のポータルサイトへ参画し、納税の方法を簡便化し、進呈品も数多く出品しています。

今後民間の運営会社と契約し、平成28年4月から一斉公開できるように進呈品を出せる事業者を募集しているところです。

### 意見交換

**【防災対策について】**

**執行部** 地域防災計画の見直しをしているが、常総市の鬼怒川氾濫による水害をもとに、利根川に対しても関係機関との連携や町民に対する指導や周知をどのようにして行ったら良いか、さらに避難勧告、避難指示を出

す段階的な発令基準等を総合的に見直ししていきたい。

また、住民の避難行動マニュアルについてもわかりやすく作成していきたい。

**議員** 防災訓練に水防対策についての訓練をした方が良いのではないか。

**執行部** 現在2年に1回防災訓練をしているが、地域ごとに避難行動が違うことから全体で1回ではなく、自主防災組織を中心に地区ごとに防災訓練ができるように考えていきたい。

**議員** 役場が水害にあった場合、町民プラザが対策本部となるということだが、非常用電源を役場の2階以上に設置できないか。

**執行部** 基本的には対策本部を役場に置きたいので、予算の掛かることで、予算の掛かることで、確保できるように検討していきたい。

**議員** 千代田消防署に避難用のゴムボートを配備してはどうか。



配備が検討される避難用ゴムボート

**執行部** 消防組合において管内でゴムボートを購入する予定となっているが、千代田町に配備されるかわからない。今後町としても購入の検討をしていきたい。

**【エコスクールについて】**

**執行部** 小中学校によるエコ関係の取り組みとしては、牛乳パック・空き缶・ペットボトルキャップ

プなどのリサイクル、緑のカーテン・節電・節水などを行なっています。給食センターの残飯については地元のリサイクル業者へ委託し飼料としています。

**議員** 国の補助金があるうちに学校施設へ太陽光発電の設置を導入してはどうか。

**執行部** 財政的に小中学校は危険箇所を優先して改修を行っています。屋上も改修があると設置が難しいので、プールサイドの日陰として利用できると考えていきたい。

補助金については優先順位が低いので採択されるかわかりません。

**議員** 給食の食べ残しなどのゴミを出さない取り組みはしてはどうか。

**執行部** 栄養教諭2名を配置して、栄養面を含め児童が残さないメニューを考えています。

また、食育にも取り組んでいます。

# 福祉産業常任委員会

◎金子孝之 ○坂部敏夫 青木國生 富岡芳男 小林正明 高橋祐二 ◎委員長 ○副委員長

## 町からの報告事項

### ●主な所管事務について

環境保健課…保健センターまつりの開催結果報告  
新炉設置に向けた住民説明会の実施  
について

経 済 課…プレミアム商品券について  
国勢調査について

建設水道課…ふれあいタウンちよだ分譲状況

舞木土地区画整理組合の保留地処分  
状況

## 主な協議事項

●次世代育成支援対策についての意見交換

●閉会中の継続調査について

## 主 な 質 疑

**問** 環境保健課として

水道水のアスベスト含有  
量の検査を行う予定は。

**答** 検査の予定はありま  
せんが、今後建設水道課  
と検討したい。

**問** 資源のリサイクルに  
ついて、まだ使えそうな  
物を西區案3町で再利用  
する考えは。

**答** 使える物に関して  
は、大泉清掃センター  
から太田リサイクルセン  
ターに運ばれ、補修をし  
て販売されています。

**問** ふれあいタウンちよ  
だ内の、商業用地の企業  
誘致の状況は。

**答** 商業用地につきまし  
ては、企業にご案内や直  
接訪問をしている中で、  
興味を示された数社に検  
討していただいています  
が、確定に至っていない  
状況です。

## 意見交換

【次世代育成支援  
対策について】

**議員** 子ども子育て関連  
の臨時やパート職員の時  
遇改善は、また他の町や  
私立に移る職員はいるの  
か。

**執行部** 現在、待機児  
童をださない状況の中  
で、近隣施設等の中で職  
員の取り合いという状態  
であり、他に移った職員  
もいますが、臨時職員に  
つきましては待遇の改善  
を行っており、パート職  
員についても様々な情報  
を見ながら改善を図って  
います。

**議員** 子どもが病気のと  
きの保育、病児・病後児  
保育のPRと使いやすい  
制度の検討をしたらどう  
か。

**執行部** 広域での事業で  
るので、今後検討してい  
きたい。

**議員** 保育園の給食で  
アレルギーを持つている  
子どももいるが、栄養管  
理をしている職員が何ら  
かの理由で休みとなった  
場合、対応はどのように  
するのか。

**執行部** 大変厳しい状  
況になると考えられます  
が、栄養士の資格を持つ  
た職員を短期雇用という  
対応になると思います。



おやつにもアレルギーに対する配慮をしています

## かほく市

かほく市は、石川県の中央部に位置し、平成の大合併において誕生した人口約3万4,200人、面積約64km<sup>2</sup>、自然豊かで「住みよさランキング」でも全国の上位に名を連ねている市です。

定住促進では、合併後の平成18年に人口がピークとなり、その後減少傾向に転じたことから、大型商業施設の誘致を成功させるとともに、若者の定住促進を図るための施策として、「かほく市若者マイホーム取得奨励金制度」を創設。そして、さらなる活性化のために定住人口増加プロジェクトチームを市の中堅職員で結成し、提案された結婚や子育て支援、住宅取得奨励金制度の拡充など幅広い施策が実施されています。

その成果の一つとして、次代を担う子供の人口が増加しているという事で、今後もテレビCM等により「住み良さ」をPRしていきたいとのことでした。これら施策の必要性を実感しました。



また、議会改革については、主に議会報告会と予算決算審査について研修させていただきました。報告会では、これまでの一般市民対象から、各種団体との意見交換にシフトした結果、これまでよりも多くの意見が聞けるようになったなどの改善効果を伺いました。

予算決算の審査では、対象事業を抽出して議会による行政評価を実施し、市長に対して提言を行っており、大いに参考となりました。

この研修で得た成果を、本町の地方創生総合戦略や議会改革に反映させていきたいと考えます。

小林 正明 記

## 新湊大橋

### 交流と安らぎの架け橋

利根川新橋建設促進に向けて、複合的な付加価値を創造している新湊大橋にて研修してきました。



新湊大橋は射水市の富山湾に架かる日本海最大級の斜張橋で、県営の渡船を利用する以外手段がなく、50年間も分断されていた地域間の交流や絆を取り戻す地域住民の悲願として、平成25年に全線開通しました。全長3.6km、総工費は約494億円、上層は車道、下層は歩行者専用道路であり、歩行者はエレベーターで上下移動しています。

建設のコンセプトは「交流と安らぎの架け橋」で、日没後のライトアップや歩行者通路の全天候化、バリアフリーに配慮すると共に朝日・夕日を空中から楽しむことができるなど、物流と共に新たな観光資源として大きく貢献しています。

千代田町に計画される利根川新橋とは規模は異なると思いますが、物流の円滑化・効率化を初め、新たな観光資源としての付加価値を備えた架け橋として、今回の研修で得たことを今後の取り組みに活かしていきたい。

福田 正司 記

# 議会全体研修

日時：10月19日～21日

場所：石川県輪島市議会・かほく市議会・新湊大橋

## 定住促進と 議会改革について学ぶ

参加者：福田 正司・青木 國生・細田 芳雄・柿沼 英己・小林 正明・金子 孝之  
襟川 仁志・高橋 祐二・野村 智一

欠席者：黒澤 兵司・富岡 芳男・坂部 敏夫

### 輪島市

輪島市は能登半島に位置し、輪島塗などの伝統工芸品や観光・漁業が盛んな人口約2万9,000人の市です。

近年人口減少が著しい輪島市では、定住促進のための施策や商業活性化のための支援制度を行なっています。輪島市に転入した場合、市外に10年以上居住した方で地元に移り住んだ方（Uターン）や初めて移り住んだ方（Iターン）には30万円、家族4人なら70万円の奨励金を出しています。さらにU・Iターン者を対象に賃貸住宅の家賃や空き家の改修費用の2分の1、住宅を購入した場合、購入費用の10分の1を補助するなどの支援を行なっています。

また、団体が農林水産物等の共同販売をする

ために施設を設置したり、個人店が空き店舗・空き家などを活用して店舗を始めた場合、2分の1から4分の1の補助を出しています。商業等活性化や起業については金融機関と連携して推進しているということで、官民一体となって地元の活性化を考えています。

また、住宅団地についても、地元産材を使った場合やモデルハウスになった場合の助成などとして分譲促進を進めています。

これだけの補助金を出している財源としては国からの過疎債を使っているということでした。本町では継続して支援できる事業として、財源を確保しながら定住促進を考えなければならないと思います。

襟川 仁志 記





## “楽しく優雅なひととき” 茶の湯「なつめ会」

代表者 白石素子さん(赤岩)

プラザが出来、お茶室があるということで、太田の相沢先生にお願いして、7～8人でお稽古を始めました。今年から、福島出身、邑楽町の橋本幸子先生に教えていただいております。棚・長板・炉・風炉等、季節により夏茶碗・冬茶碗とあります。おいしいお抹茶・お菓子をいただき、楽しく優雅なひとときを過ごしております。今年の文化祭は200名位のお客様が見え



ました。最近では小さなお子さんもお母さんと来て、お抹茶がおいしいと飲んでくれました。

第2・4火曜日にお稽古していますので、興味のある方は、ぜひどうぞ！

## 議会を傍聴しませんか？

次回の議会は、

**臨時会** 2月18日(木)～2月26日(金)

**定例会** 3月1日(火)の予定です

(一般質問は午前9時からです)



会議録は町のホームページからご覧になれます [千代田町議会](#)



### 議会広報編集委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
高 橋	坂 部	襟 川	福 田	小 林	野 村	金 子
祐 二	敏 夫	仁 志	正 司	正 明	智 一	孝 之



### 今号の表紙

12月14日、東幼稚園のサッカー教室が行なわれました。子ども達が元気に楽しくボールを追いかけていました。

議会だよりに掲載された写真を無料で差し上げます。

詳しくは議会事務局まで ☎(86)7009